JRTU JR九州労組ニュース
No. 26
2024 年
1 月29日
九州旅客鉄道労働組合
発行責任者　吉田祥司

BRT 関連３労組が意見交換を実施

BRT の発展と課題の解決をめざす

JR 九州労組
吉田中央執行委員長

JR 九州バス労働組合
角当執行委員長

日田バス労働組合
下城執行委員長

2024 年 1 月 25 日、日田市内で、BRT の発展と情報の共有、課題の解決を目的とした日田彦山線 BRT ひこぼしライン関連３労組（JR 九州労組・JR 九州バス労働組合・日田バス労働組合）による意見交換会が開催された。JR 九州労組からは、吉田祥司中央執行委員長、川﨑淳史中央執行委員、筑豊支部から水野祐一執行委員長、田守正尚執行副委員長の４名が参加した。意見交換会では、日田バス労働組合下城実執行委員長、JR 九州バス労働組合角当智重執行委員長、JR 九州労組吉田祥司中央執行委員長の挨拶の後、BRT の乗務員や添田駅まで列車を運転する運転士等の現場で働く組合員目線の意見交換が行われ、①運行システム（GPS）の不具合、②鳥獣被害の要注意箇所、③証明書の発行方法、④各駅での接続問題、⑤BRT 乗務員の養成不足等の多くの課題が出され、参加者全員で課題を共有し、各単組が解決に向けて取り組んで行くことを確認するとともに、意見交換会の名称を「ひこぼしライン協議会」とすることを決定した。次回の協議会は６月に開催予定である。

BRT とは？

バス・ラピッド・トランジットの略で、PTPS（公共車両優先システム）、バス専用道、バスレーン等を組み合わせることで、速達性・定時性の確保や輸送能力の増大が可能となる高次の機能を備えたバスシステム。日田彦山線 BRT は被災した鉄道を BRT で復旧した九州で初の試み。BRT の１日の平均利用者数は 407 名と鉄道時代から倍増している。

BRT（左）と列車（右）の対面乗換